

第4章

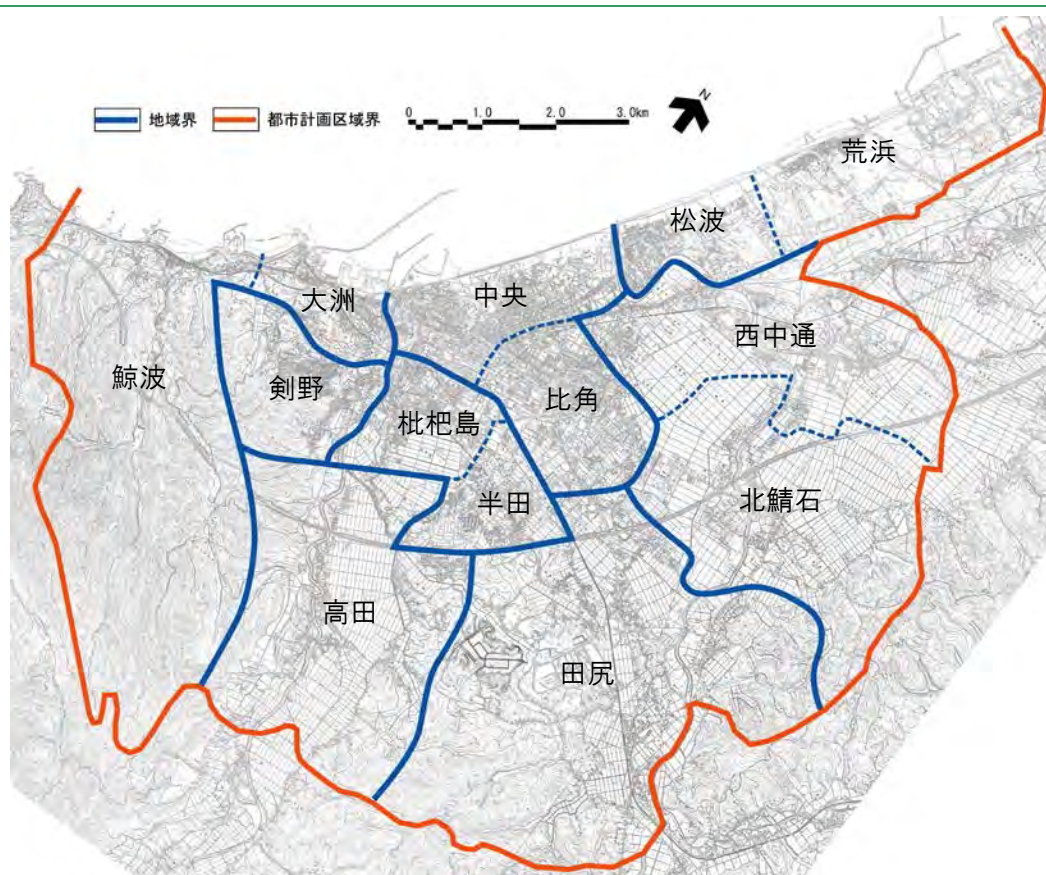
地域別構想

- 1.中央・比角地域
- 2.大洲・鯨波地域
- 3.松波・荒浜地域
- 4.剣野地域
- 5.枇杷島・半田地域
- 6.西中通・北鯖石地域
- 7.田尻地域
- 8.高田地域

地域区分の考え方

- ①地域コミュニティを主な区割り単位とします。
- ②人口や面積規模などを勘案し隣接関連する地域特性である松波地区と荒浜地区の地域座談会は、1つにまとめます。
- ③地域別構想図は、関連事項図化の必要性から2つ程度の座談会単位にまとめます。

コミュニティ名	座談会単位	地域別構想図単位
中央	中央	中央・比角
比角	比角	
大洲	大洲	大洲・鯨波
鯨波	鯨波	
松波	松波・荒浜	松波・荒浜
荒浜		
剣野	剣野	剣野
枇杷島	枇杷島	枇杷島・半田
半田	半田	
西中通	西中通	西中通・北鯖石
北鯖石	北鯖石	
田尻	田尻	田尻
高田	高田	高田
13 コミュニティ	12 地区	8 地域



地域区分図

※全体構想の土地利用構想と地域別構想では土地利用区分が一部異なるため、図面上の表示が整合しない箇所がありますが、土地利用の考え方が変わるものではありません。

1 中央・比角地域

中央地域

■ 計画のテーマと目標

蒼い海と活力あふれるまちづくり 中央

中央地域は、柏崎刈羽広域圏の中心拠点として、新しい柏崎市の顔にふさわしい存在感と品格を備え、都市機能が集積した中心市街地づくりを進めていきます。子どもからお年寄りまであらゆる世代が暮らしやすいまちを目指し、にぎわいある商業地、様々な居住スタイルが選べる住宅地づくりを支援し、文化福祉活動なども活発なまちなかづくりを推進していきます。都市基盤が整備された安全安心な市街地、公共交通の充実により集まりやすいまちなか、にぎわいある利便性の高い中心市街地、暮らしやすいコンパクトなまちなかづくりを基本目標とします。また、柏崎の個性的な海岸と歴史あるまちなかを景観保全し、都市基盤の整った東本町一丁目、駅通り商店街と柏崎駅周辺工場跡地の開発地域を結ぶ地区を柏崎市の中心市街地として創りあげることを目指します。



えんま市



みなとまち海浜公園

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

専用住宅地・複合住宅地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。
- 市街地内の専用住宅地については、今後も優良な居住環境を保全する地域とします。

商業業務地・近隣商業地

- 市民の需要を満足させる集客性の高い商業地域の形成を図ります。
- 柏崎駅周辺の工場跡地は地域住民の利便性の向上のための商業業務地として都市的土地活用を図ります。

沿道サービス型商業地

- 国道8号などの幹線道路沿道は、背後の土地利用を考慮しながら、アクセスの利便性を活用した沿道サービス機能を持った商業業務地として土地利用を図ります。

工業地

- 市街地内の周辺環境との調和に配慮しながら、良好な操業環境を有する工業地として利用を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 都市機能を活発にする円滑な交通確保のため、都市計画道路日吉町北園町線などの整備により機能的道路網の形成に努めます。また、柏崎駅の利便性を高めるため駅南広場を再整備します。
- 中心市街地で鉄道やバス交通等の、生活基盤として必要な公共交通の確保を図ります。
- 商業業務地を中心に、歩行者や自転車が安心して安全に移動できるような道路空間の形成を目指します。また、JRによる駅南北移動の分断を改善するために、新たな南北連絡歩道橋を整備します。
- 地域内の生活道路については、こどもや高齢者が安全に利用できるような整備改善を図ります。
- 市街地の案内を容易にできるようサインシステムの充実を図ります。

(3) 防災についての方針

- 低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。
- 災害避難地となる公園・緑地の適正な配置と、住宅密集地の環境改善などにより、防災・減災体制の強化を図ります。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 海岸沿いの保安林については、防災機能の観点から保護育成を図るとともに、憩いの場としての活用を図ります。
- 既存の公園と緑地の活用と保全を図ります。
- 神社仏閣を始めとした歴史的資源を活用し、歴史文化が息づくまちづくりを目指します。

(5) 柏崎駅周辺整備の方針

- 柏崎駅周辺の工場跡地を活用し、商業業務機能・居住機能・文化機能・防災緑地機能など複合的土地利用により、中心市街地の活性化を進めます。
- 柏崎市の玄関口として、海や新市民会館へ通じる道路の緑化や駅前広場周辺の建築物・屋外広告物の景観的配慮などにより、シンボリックな景観の創出を誘導します。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- 柏崎駅前土地区画整理
- 新市民会館整備
- 都市計画道路日吉町北園町線整備
- 柏崎駅南広場整備
- 南町浸水対策
- 駅前公園防災関連施設整備
- 都市計画道路日石町鏡町線整備
- 市道柏崎 2-3 号線整備
- えんま通り商店街復興まちづくり
- 南北連絡歩道橋整備

比 角 地 域

■ 計画のテーマと目標

夢と活力あふれるまちづくり 比角

比角地域は、柏崎刈羽広域圏の中心拠点として、新しい柏崎市の顔にふさわしい存在感と品格を備え、都市機能が集積した中心市街地づくりを進めていきます。子どもからお年寄りまであらゆる世代が暮らしやすいまちを目指し、にぎわいある商業地、様々な居住スタイルが選べる住宅地づくりを支援し、文化福祉活動なども活発なまちなかづくりを推進していきます。都市基盤が整備された安全安心な市街地、公共交通の充実により集まりやすいまちなか、にぎわいある利便性の高い中心市街地、暮らしやすいコンパクトなまちなかづくりを目指します。



よしやぶ川七夕飾り



東柏崎駅

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

複合住宅地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。
- 扇町など既に住宅地利用されている地域については、工業系から住居系への用途変更を検討します。

商業業務地・近隣商業地

- 四谷商店街など地区住民の需要に対応した集客性のある商業地域の形成を図ります。

沿道サービス型商業地

- 国道8号及び国道252号などの幹線道路沿道は、背後の土地利用を考慮しながら、アクセスの利便性を活用した沿道サービス機能を持った商業業務地として土地利用を図ります。

工業地

- 北斗町・田塚などの工業地については、市街地内の周辺環境との調和に配慮しながら、良好な操業環境を有する工業地として利用を図ります。

〔都市・田園調和型市街地〕 ※全体構想の土地利用構想

- 各種住宅地などと農地が混在しているエリアでは、都市と自然の双方が良好な環境を確保できるよう、無秩序な市街地拡散を抑制するとともに双方が一定のまとまりのある土地利用を確保し、安全で安心して活動ができる都市基盤の充実を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 本地域から他地域へのアクセス向上と、通過交通を分離するために国道8号柏崎バイパスの整備を進めます。
- 都市機能を活発にする円滑な交通確保のため、日吉町北園町線などの整備による機能的道路網の形成に努めます。
- 中心市街地で鉄道やバス交通等の、生活基盤として必要な公共交通の確保を図ります。
- 地域内の生活道路については、こどもや高齢者が安全に利用できるように整備改善を図ります。

(3) 防災についての方針

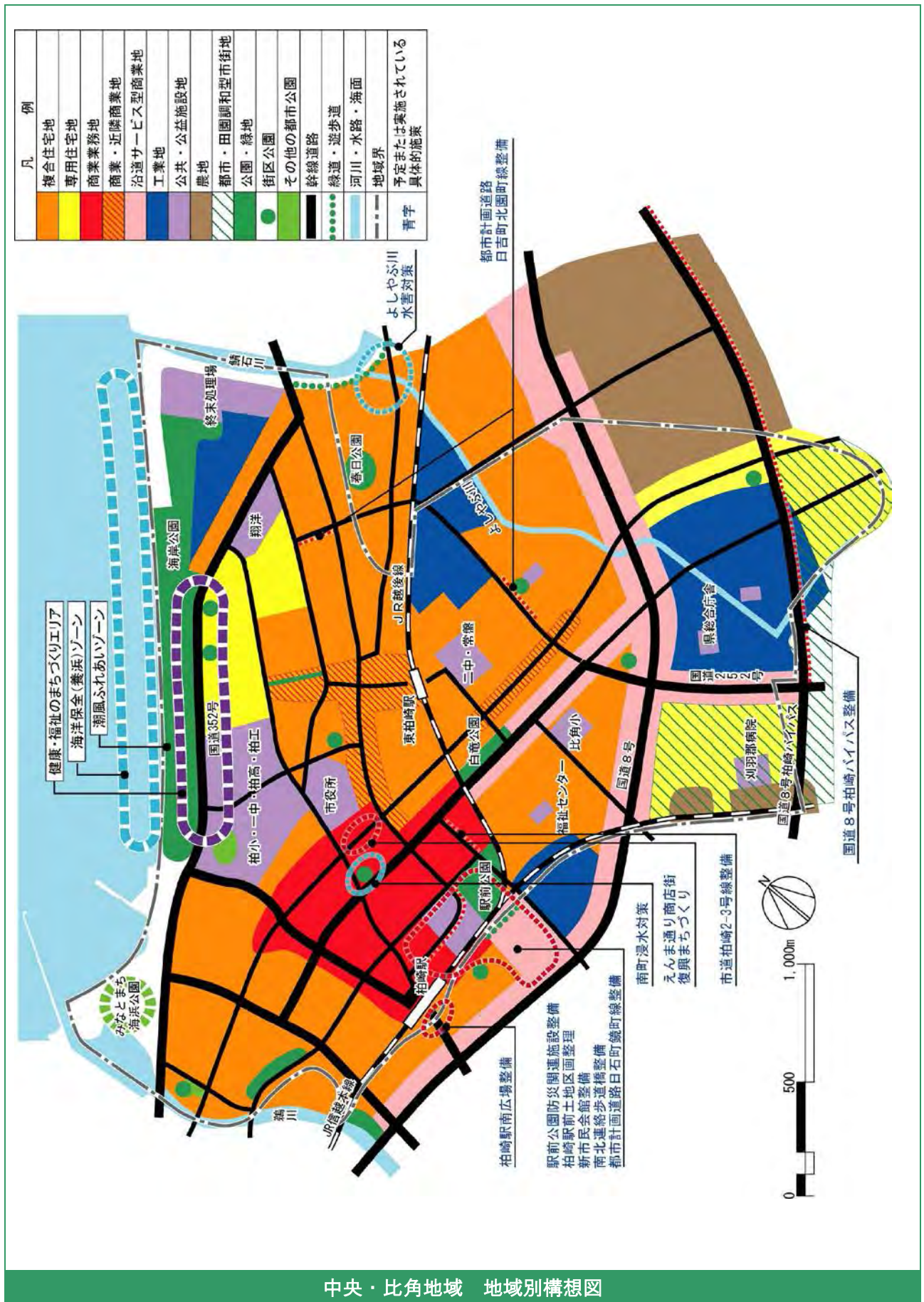
- よしやぶ川流域など、低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。
- 災害避難地となる公園・緑地の適正な配置と、住宅密集地の環境改善などにより、防災・減災体制の強化を図ります。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 既存の公園と緑地の活用と保全を図ります。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- 都市計画道路日吉町北園町線整備
- 国道8号柏崎バイパス整備
- よしやぶ川水害対策



中央・比角地域 地域別構想図

2 大洲・鯨波地域

■ 計画のテーマと目標

海のまちを伝える 大洲・鯨波

大洲・鯨波地域は、本市の誇りとする美しい海岸と、背後の高台に広がる緑と歴史・文化資源を活かし、海とのつながりを大切にした地域特性の浸透をまちづくりの基本目標とし、地域住民だけでなく本市を訪れる人々にも居心地のよい海辺の環境づくりを目指します。



鯨波海水浴場



番神堂

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

緑住市街地・複合住宅地・近郊集落地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。
- 緑住市街地については、戸建て住宅を中心とした緑豊かでゆとりがあり、景観にも配慮した空間づくりを誘導します。

商業業務地

- 柏崎港に隣接する地域は、海洋観光エリアの賑わいを創出する商業地域の形成を図ります。

港湾施設用地

- 周辺環境との調和に配慮しながら、今後も地方港湾として良好な機能を有する「人と物とが行き交うにぎわいのある港湾施設」としての土地利用を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 本地域から他地域へのアクセス向上と、通過交通を分離するために国道8号柏崎バイパスの整備を進めます。
- 地域内の生活道路については、こどもや高齢者が安全に利用できるような整備改善を図ります。
- 鉄道やバス交通等の、生活基盤として必要な公共交通の確保を図ります。

(3) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 赤坂山公園とその周辺の各施設を、自然環境と融合したレクリエーション・文化の杜として活用を図ります。
- 既存の公園と緑地の活用と保全を図ります。
- 神社仏閣などを始めとした歴史的資源を活用し、歴史文化が息づくまちづくりを目指します。

(4) 海洋レクリエーションゾーン整備の方針

- 海岸部及び砂浜部においては、地域住民が海と親しみ、集い、憩う場として整備・保全を図ります。
- 柏崎港観光交流センターを活用し、港の賑わい創出に努めます。

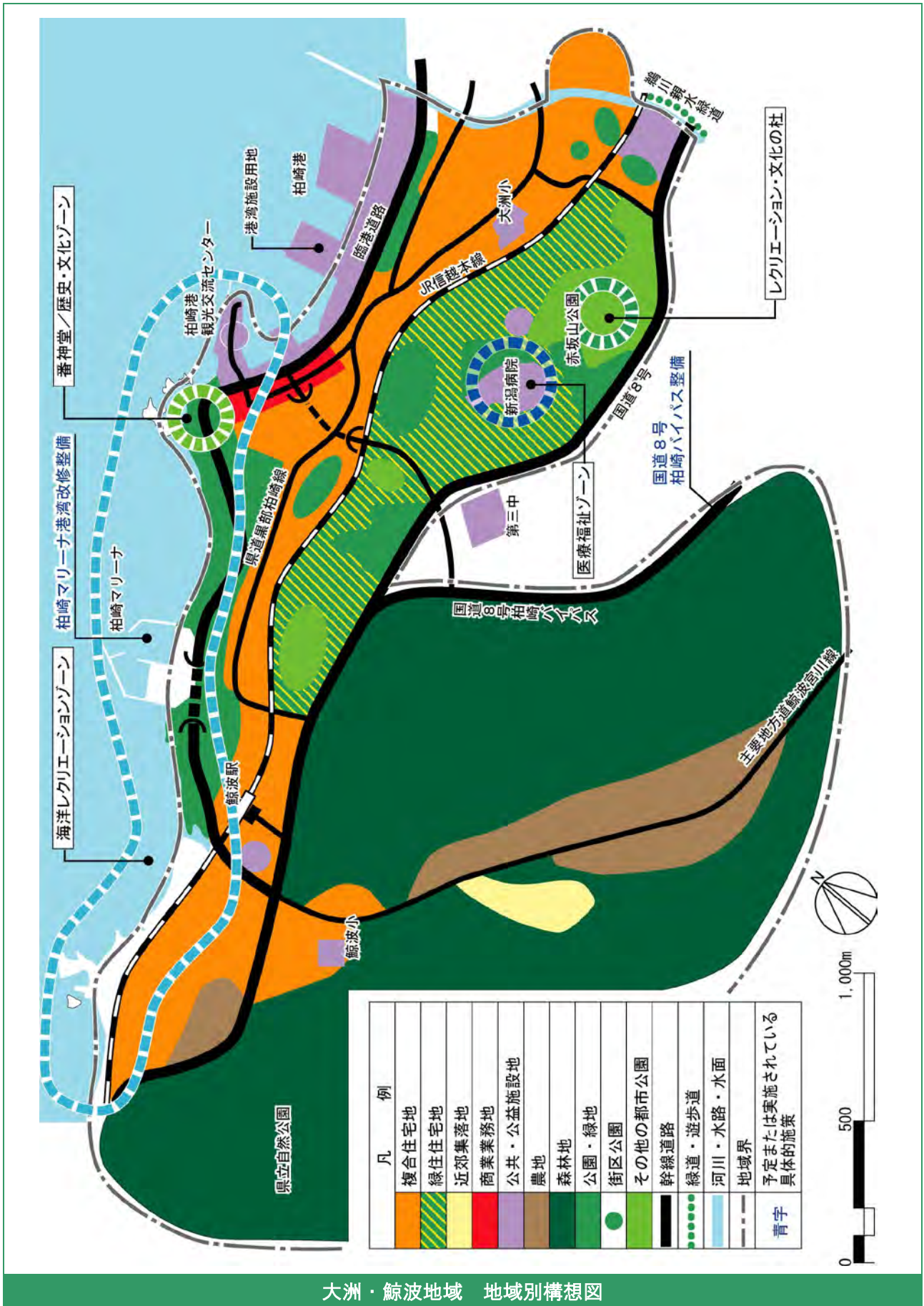
5) 医療福祉ゾーン整備の方針

- 新潟病院などの医療・福祉施設周辺について都市基盤の整備を検討します。

■ 予定又は実施されている具体的施策

・国道8号柏崎バイパス整備

・柏崎マリーナ港湾改修整備（防砂堤）



3 松波・荒浜地域

■ 計画のテーマと目標

自然と人がふれあう海のまち 松波・荒浜

松波・荒浜地域は、日本海の眺望を活かし、南部の砂丘地の豊かな緑地に恵まれたまちづくりを推進するとともに、海岸林の続く自然海岸の保全と漁港を活かした海にちなんだレクリエーション空間の整備を図り、地区の豊かな自然と原子力発電所に象徴される先端産業の調和したまちづくりを目指します。



ハロウィン仮装パレード（松波地区）



荒浜いわしまつり

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

専用住宅地

- 区画整理事業で整備された松波二丁目地内の良好な住宅地については、今後も優良な居住環境の保全を図ります。

複合住宅地・近郊集落地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。

工業地

- 市街地内の周辺環境との調和に配慮しながら、良好な操業環境を有する工業地として利用を図ります。

緑地・森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

公共空地の活用

- 家畜衛生試験場跡地について、地域の活性化につながる土地利用について検討します。

(2) 交通体系整備の方針

- 地区内外の交通を円滑にするために、国道 352 号の整備を計画的に進めます。
- 地域内の生活道路については、こどもや高齢者が安全に利用できるような整備改善を図ります。

(3) 防災についての方針

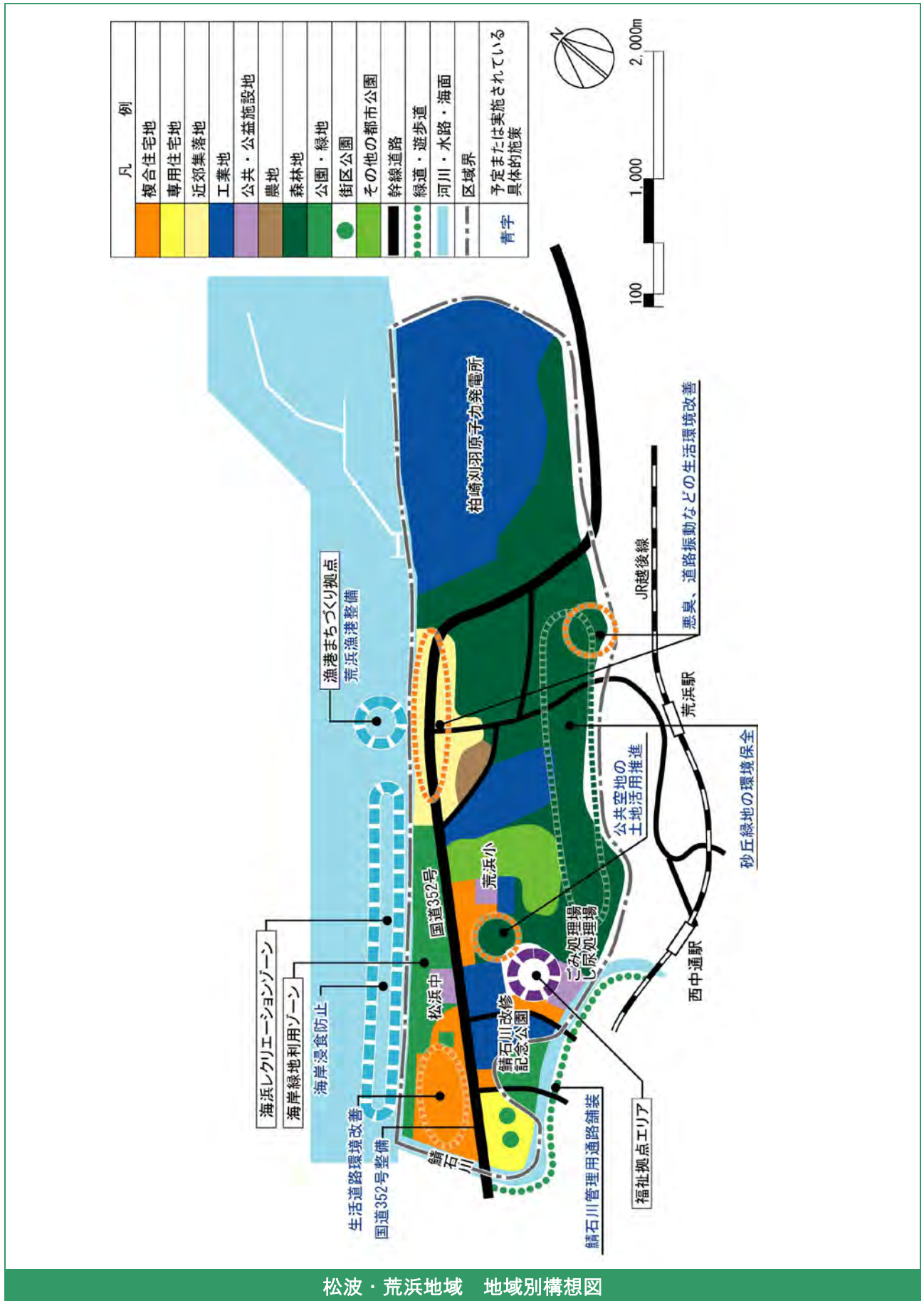
- 災害避難地となる公園・緑地の適正な維持保全と、住宅密集地の環境改善などにより、防災・減災体制の強化を図ります。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 海岸沿いの保安林については、防災機能の観点から保護育成を図るとともに、憩いの場としての活用を図ります。
- 地域の背後地となる砂丘地は、都市の環境緑地として保全に努めます。
- 地域内の悪臭対策や道路沿線の振動対策など生活環境改善に取り組みます。
- 既存公園・緑地やレクリエーションゾーンは、地域内の活用促進を図ります。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・ 国道 352 号の松波地区整備
- ・ 荒浜漁港整備
- ・ 生活道路環境の改善
- ・ 砂丘緑地の環境保全
- ・ 荒浜海岸の浸食防止
- ・ 鯖石川管理通路舗装
- ・ 悪臭、道路振動などの生活環境改善
- ・ 公共空地の土地活用推進



松波・荒浜地域 地域別構想図

4 剣野地域

■ 計画のテーマと目標

人々のくらしと豊かな自然が調和する美しいまち 剣野

剣野地域は、土地区画整理事業や計画的な宅地開発によって優良な住宅地が形成され、未利用の森林地が多く残されるなど緑に恵まれた環境にあることから、これらを活かした自然と共存する良好な住環境のまちづくりを目指します。



米山台団地



桜づつみでの球根植え付け風景

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

専用住宅地・複合住宅地

- 米山台、常盤台、剣野、新赤坂町などの専用住宅地域については、今後も優良な居住環境の保全を図ります。
- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。

沿道サービス地

- 国道8号など幹線道路沿道は、背後の土地利用を考慮しながら、アクセスの利便性を活用した沿道サービス機能を持った商業業務地として土地利用を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 本地域から他地域へのアクセス向上と、通過交通を分離するために国道8号柏崎バイパスの整備を進めます。
- 都市計画道路を整備し、住宅地域の防災避難路や利便性安全性の高い道路網づくりを目指します。

(3) 防災についての方針

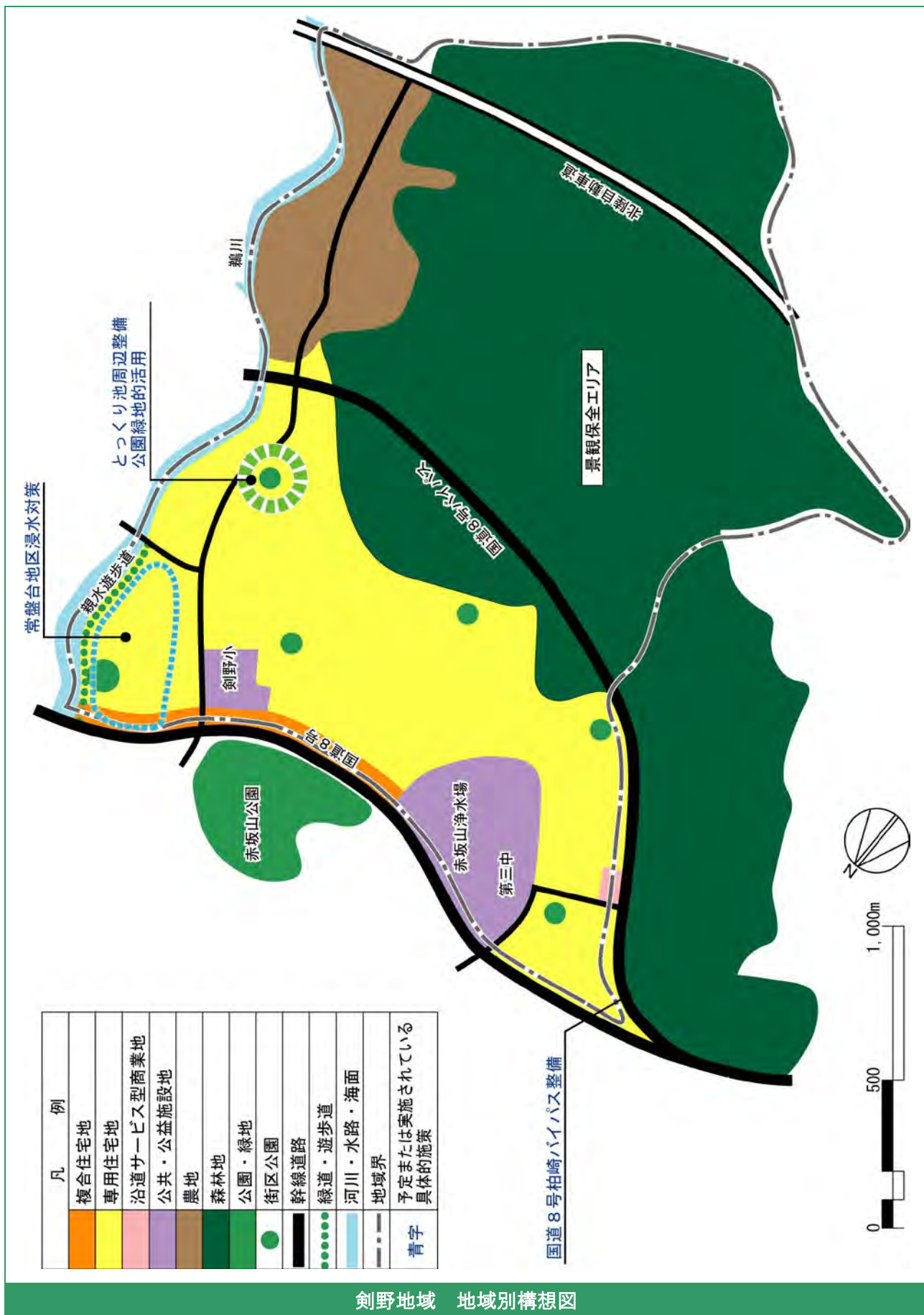
- 常盤台地区など、低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。
- 住宅密集地の道路環境を改善し、安全安心な地域づくりを目指します。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 既存の公園・緑地や親水遊歩道の活用と保全を図ります。
- とっくり池周辺の空閑地について、防災機能を持った公園・緑地として整備します。
- 住宅地域に点在して残る緑地や林地の保全を図ります。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・国道8号柏崎バイパス整備
- ・とっくり池周辺整備
- ・常盤台地区浸水対策



剣野地域 地域別構想図

5 枇杷島・半田地域

■ 計画のテーマと目標

安全・安心で活力あふれるまち 枇杷島・半田

枇杷島・半田地域は、近年の宅地開発によって市街化が進行しており、また、JR柏崎駅と柏崎南部をつなぐ重要な地域であり、都市基盤整備を推進し地区の特性にあった市街地の形成と、国道沿いに進出した商業施設との共存を図ったまちづくりと、農地保全による潤いある環境づくりによって、地域の安全・安心を確保するまちづくりを目指します。



枇杷島城址



半田地区の花いっぱい運動

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

専用住宅地・複合住宅地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。
- ゆりが丘、朝日が丘などの専用住宅地域については、今後も優良な居住環境の保全を図ります。

沿道サービス型商業地

- 国道8号沿道は、背後の土地利用を考慮しながら、アクセスの利便性を活用した沿道サービス機能を持った商業業務地として土地利用を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

〔都市・田園調和型市街地〕 ※全体構想の土地利用構想

- 各種住宅地などと農地が混在しているエリアでは、都市と自然の双方が良好な環境を確保できるよう、無秩序な市街地拡散を抑制するとともに双方が一定のまとまりのある土地利用を確保し、安全で安心して活動ができる都市基盤の充実を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 本地域から他地域へのアクセス向上と、通過交通を分離するために、国道8号柏崎バイパスの整備を進めます。
- 地域内の生活道路については、子どもや高齢者が安全に利用できるように整備改善を図ります。
- 公共交通利用者の利便性の向上のため、柏崎駅南広場を整備します。

(3) 防災についての方針

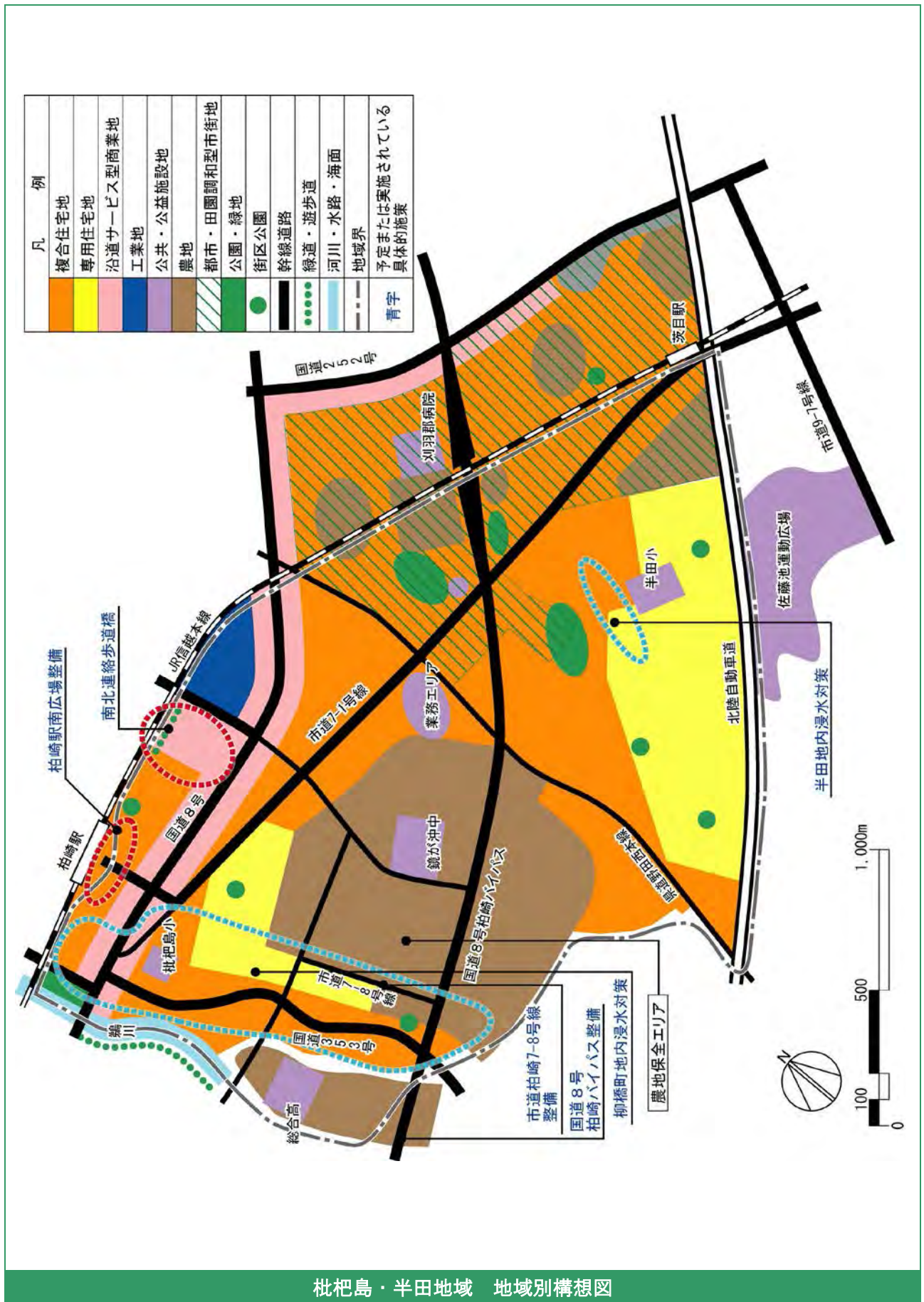
- 柳橋、関町、宮場、城東、半田地区など、低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 既存の公園と緑地の活用と保全を図ります。
- 住宅地に隣接して点在する林地の保全を図ります。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・ 国道8号柏崎バイパス整備
- ・ 市道柏崎7-8号線整備
- ・ 半田地内浸水対策
- ・ 柏崎駅南広場整備
- ・ 柳橋町地内浸水対策
- ・ 南北連絡歩道橋整備



枇杷島・半田地域 地域別構想図

6 西中通・北鯖石地域

西 中 通 地 域

■ 計画のテーマと目標

鯖石川が育む豊かなまち 西中通

西中通地域は、鯖石川や別山川の恵みである美しい田園風景などの景観が広がる都市隣接地域です。また、都市の雇用を生み出す工業生産拠点を地域内に配置しており、重要な都市機能を担う地域でもあります。工業拠点と周辺環境との調和や、幹線道路沿いの沿道サービス型商業地を活用したまちづくりを推進します。優良農地や集落景観の保全に考慮した利便性の高い住環境のまちを基本目標として、心やすまる定住の里の形成を目指します。



鯖石川改修記念公園



鯖石川に架かる豊田橋

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

複合住宅地・近郊集落地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。

沿道サービス型商業地

- 用途地域内の国道8号沿道は、背後の土地利用を考慮しながら、アクセスの利便性を活用した沿道サービス機能を持った商業業務地として土地利用を図ります。

工業地

- 北斗町や剣などの工業地については、周辺環境との調和に配慮しながら、良好な操業環境を有する工業地として利用を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 本地域から他地域へのアクセス向上と通過交通を分離するために、国道8号柏崎バイパス及びこれに接続する都市計画道路栄田松波町線や宝田北斗町線などの整備を進めます。
- 中心市街地への鉄道やバス交通等の、生活基盤として必要な公共交通の確保を図ります。

(3) 防災についての方針

- 低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 鯖石川沿いに水と緑の環境軸となる遊歩道の整備を進めます。
- 既存の公園・緑地について、防災機能強化や施設更新に努め、維持活用を図ります。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・ 国道8号柏崎バイパス整備
- ・ 都市計画道路宝田北斗町線整備
- ・ 鯖石川管理通路舗装
- ・ 都市計画道路栄田松波町線整備
- ・ よしやぶ川治水対策
- ・ 鯖石川、別山川河川改修

北 鯖 石 地 域

■ 計画のテーマと目標

鯖石川が育む豊かなまち 北鯖石

北鯖石地域は、鯖石川の恵みである美しい田園風景が広がる郊外地域です。雇用を創出する工業生産拠点としての都市機能を持ち、優良農地や集落景観に配慮した住宅地の環境保全を基本目標として、心やすまる定住の里の形成を目指します。



鯖石川に架かる天保橋



与三地域の田園風景

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

複合住宅地・近郊集落地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。

沿道サービス型商業地

- 国道8号沿道は、背後の土地利用を考慮しながら、アクセスの利便性を活用した沿道サービス機能を持った商業業務地として土地利用を図ります。

工業地

- 田塚・藤井などの工業地については、周辺環境との調和に配慮しながら、良好な操業環境を有する工業地として利用を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 本地域から他地域へのアクセス向上と、通過交通を分離するために国道8号柏崎バイパス及びこれに接続する都市計画道路の整備を進めます。
- 都市計画道路や生活道路を整備し、住宅地域の防災避難路や利便性安全性の高い道路網づくりを目指します。

(3) 防災についての方針

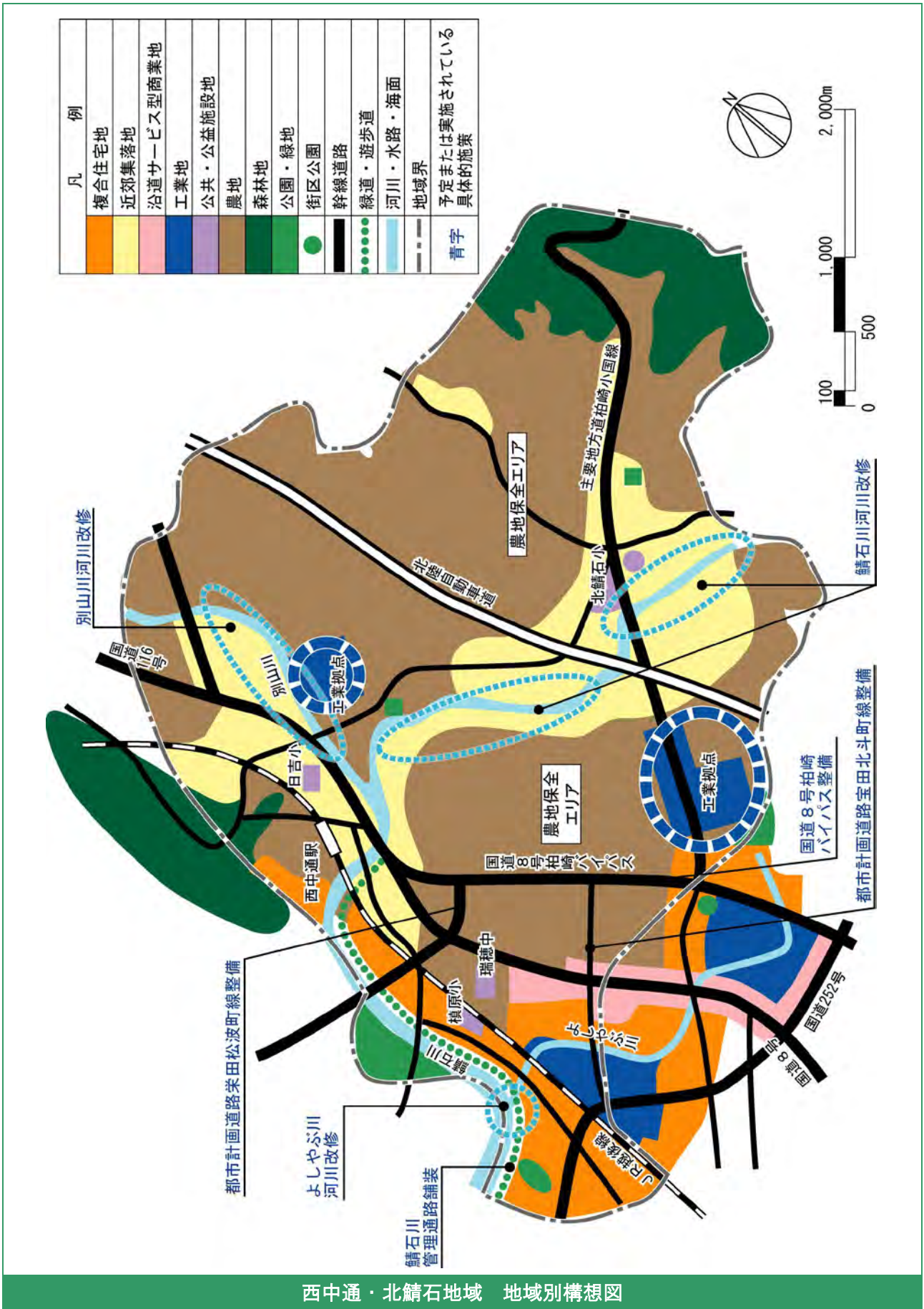
- 低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 鯖石川沿いに水と緑の環境軸となる緑道の整備を進めます。
- 既存の公園・緑地や森林地を保全し、良好な集落環境の保全に努めます。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・国道8号柏崎バイパス整備
- ・都市計画道路宝田北斗町線整備
- ・都市計画道路米田松波町線整備
- ・鯖石川河川改修



7 田尻地域

■ 計画のテーマと目標

自然と共存する産業と学園のまち 田尻

田尻地域は、田園や丘陵地の豊かな自然環境とその中に創られた大学、先端工業団地、大規模な公園や運動広場等が融合し、自然と調和する拠点施設開発を基本目標とします。夢の森公園やフロンティアパーク、工業団地を拠点として、自然豊かなうらおいのある農村居住環境の創出、丘陵地の緑や鯖石川の水辺景観に配慮した開発と保全の調和を求めて個性ある地域づくりを目指します。



夢の森公園



藤井堰

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

複合住宅地・近郊集落地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。

工業地

- 周辺環境との調和に配慮しながら、良好な操業環境を有する工業地として利用を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

〔都市・田園調和型市街地〕 ※全体構想の土地利用構想

- 各種住宅地などと農地が混在しているエリアでは、都市と自然の双方が良好な環境を確保できるよう、無秩序な市街地拡散を抑制するとともに双方が一定のまとまりのある土地利用を確保し、安全で安心して活動ができる都市基盤の充実を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 学園ゾーン・佐藤池運動広場と国道252号を直結する市道9-7号線の整備を進めます。
- 地域内の生活道路については、こどもや高齢者が安全に利用できるような整備改善を図ります。

(3) 防災についての方針

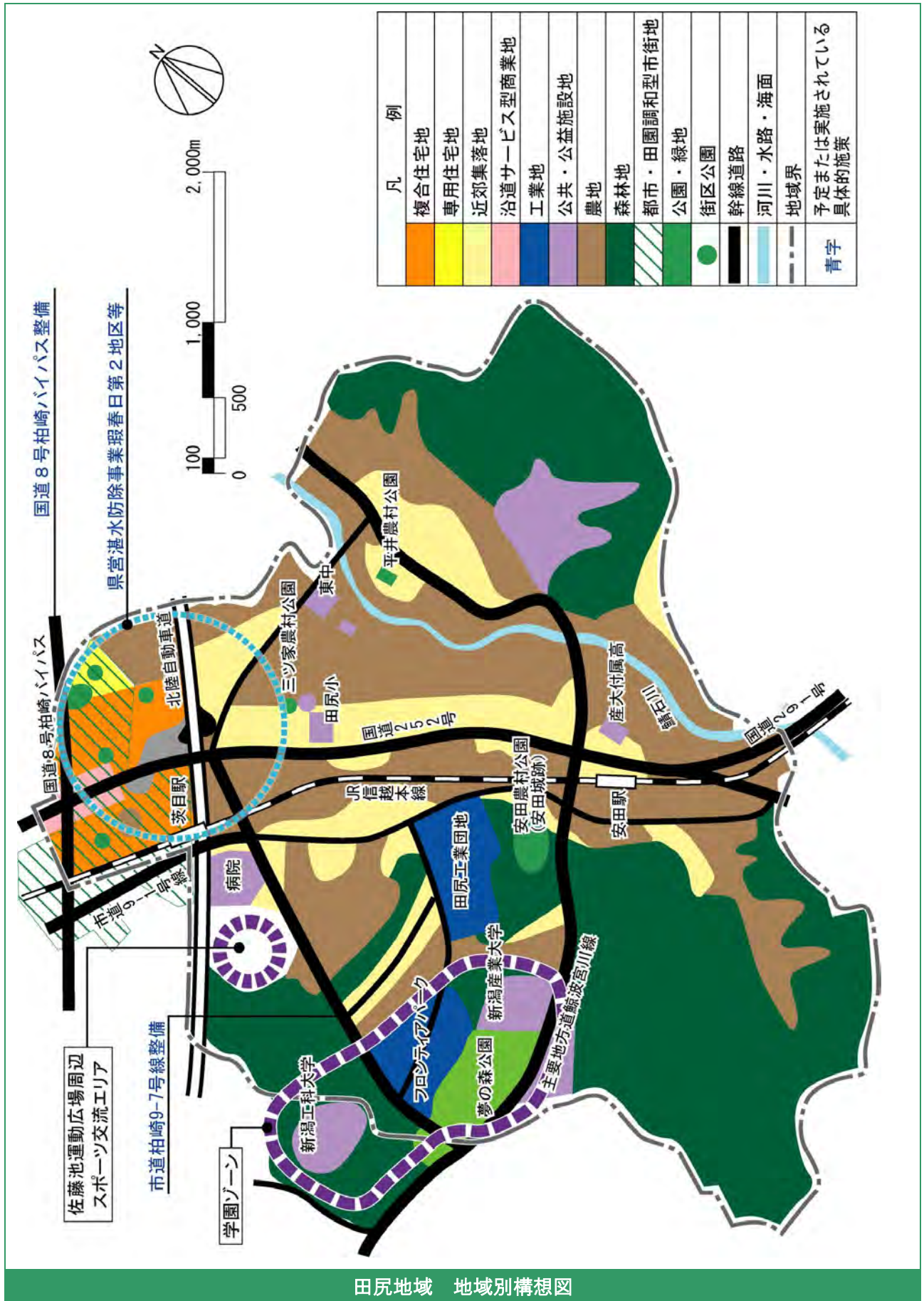
- 茨目、下田尻、上田尻、両田尻地区など、低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

- 学園ゾーンにおいては公園・緑地や森林地を保全活用して、文化交流拠点の形成を目指します。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・国道8号柏崎バイパス整備
- ・市道柏崎9-7号線整備
- ・県営湛水防除事業春日第2地区



田尻地域 地域別構想図

8 高田地域

■ 計画のテーマと目標

鵜川が育む歴史と文化の里 高田

高田地域は、鵜川中流域に位置し、歴史・文化資源を豊富に集積した田園集落環境と、それらを包む豊かな緑の山地の景観を活かし、郷土の歴史・文化を語り継ぐ地域を目標とします。また、そのたたずまいを大切にしたい地域づくりを目指します。



史跡・飯塚邸



風牧山 新道柿団地

■ まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

専用住宅地・近郊集落地

- 既存住宅地については、緑豊かな潤いのある居住環境の保全を図ります。

農地

- 市街地周辺部の農地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全を図ります。

森林地

- 住宅地と隣接して広がる森林地については、自然環境を保全し、良好な居住環境との調和を図ります。

(2) 交通体系整備の方針

- 中心市街地へのバス交通等の、生活基盤として必要な公共交通の確保を図ります。
- 地域内の生活道路については、こどもや高齢者が安全に利用できるような整備改善を図ります。

(3) 防災についての方針

- 黒滝、新道、上方、藤橋、横山地区など、低地浸水被害を低減させる治水対策事業を進めます。

(4) 自然環境及び公園・緑地整備の方針

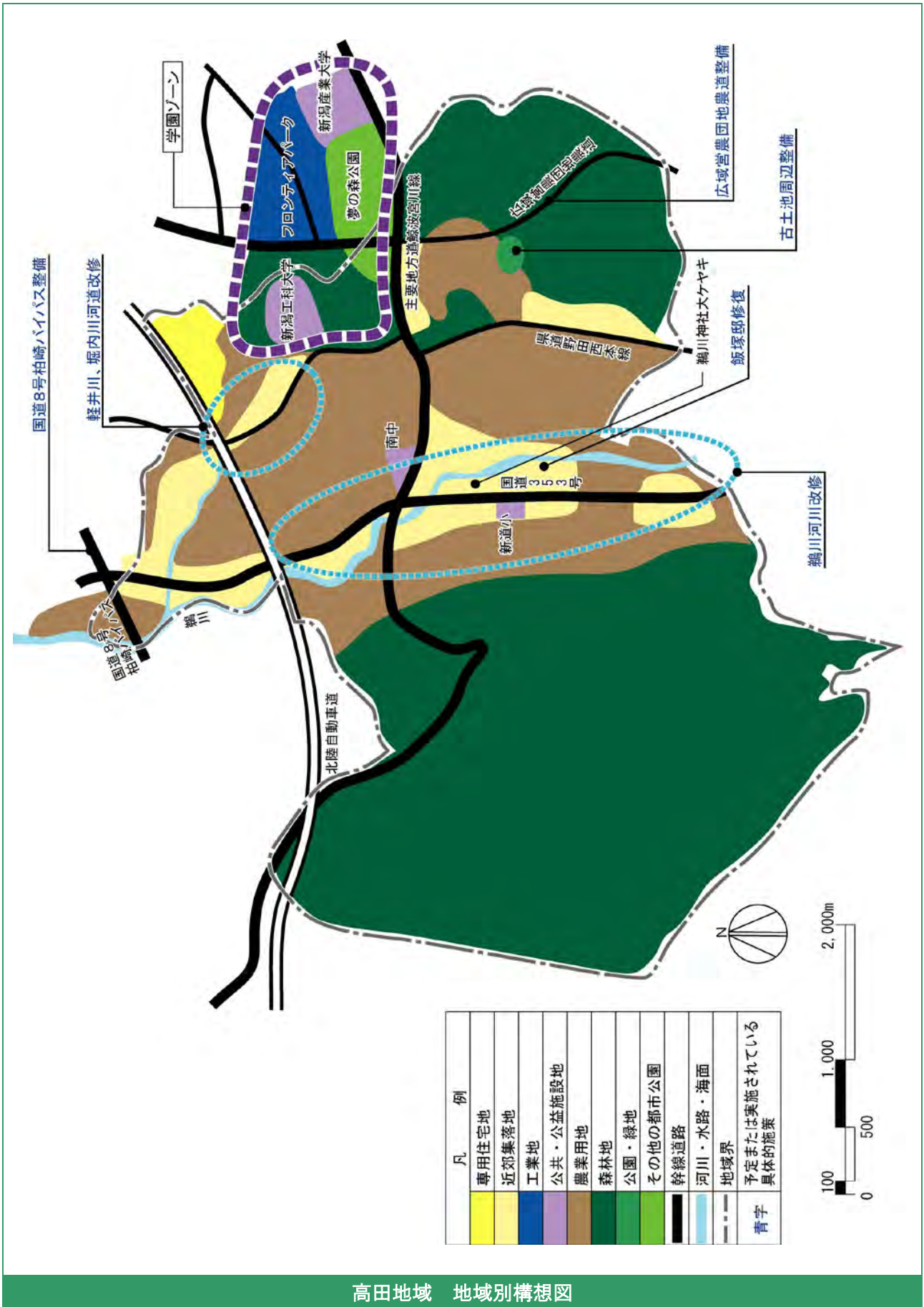
- 既存の公園と緑地の活用と保全を図ります。
- 水と緑に親しむ環境を整えるため、古土池周辺を整備します。

(5) 歴史・文化資源活用の方針

- 史跡飯塚邸や国指定文化財鶴川神社大櫓等の歴史文化資源を保全・活用したまちづくりを目指します。

■ 予定又は実施されている具体的施策

- ・国道8号柏崎バイパス整備
- ・鶴川河川改修
- ・掘内川河川改修
- ・飯塚邸修復
- ・古土池周辺整備
- ・軽井川河道改修
- ・広域営農団地農道整備



高田地域 地域別構想図